

事務事業評価における総括

部 局 名	会計課	記入責任者	木村 英知
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>会計課の実施計画の事業数は「庁内共通事務」、「災害応急対策活動」を除き 8 事業であり、各事業を適切に実施することができましたが、施策指標となっている資金運用実績額（歳計現金）、資金運用実績額（基金）及び例月出納検査の指摘事項件数については、目標値を下回る結果となりました。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>資金運用実績としては、昨今の経済状況の影響により金利の低水準が続いていることから、当初の目標を達成することが難しい状況となっております。</p> <p>例月出納検査の指摘事項件数については、前年度と比較して 9 件の減少となっておりますが、指摘内容については例年と同様の内容が多く、庁内への引き続きの周知が必要となっております。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた各事業の今後の方向性について】</p> <p>公金の資金運用については、各課からの正確な収支予定を報告させることで資金計画の精度を上げ、今後も安全性を最優先に、市財政にとって有益な運用を実施していきます。</p> <p>例月出納検査の指摘事項件数については、会計課での審査段階でも確認を徹底するとともに、各課への注意や庁内の通知、研修等であらためて周知を図り、目標達成に努めていきます。</p> <p>今後の事業として、現在口座振込のデータ伝送で利用している I S D N 回線のサービス提供が令和 6 年 1 月をもって終了することを踏まえ、令和 4 年 1 月からデータ伝送の回線種別を変更するとともに、現在行っているフロッピーディスク等の媒体によるデータ授受を廃止することにより、業務の効率化を図っていきます。</p>			